YOKOHAMA MAIL NEWS
No. 2 1
JR東日本輸送サービス労働組合
JTSU-E 横浜地本
2021.3.11
ホームページ Twitter

3月11日 申３号

東日本大震災から１０年

震災対策を検証し、組合員・乗客の生命を守る申し入れ提出！

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 10 年。あの未曾有の大震災では 15,900 名がお亡くなりになり、現在も 2,525 名の方が行方不明となっています。東日本大震災では、津波によって人的被害だけではなく、東北地方を中心に沿岸部を走る鉄道施設にも大きな被害が出ました。こうした経験から震災以降、各鉄道会社の間ではお客さまを津波から守るための対策が取られています。

神奈川県によると、津波によって浸水の恐れがある区間はＪＲだけでも 52 か所、距離にして 70ｋｍ近くと想定されており、最悪の場合、高さ 7mまで浸水する区間もあるとされています。今後 30 年間に 70%の確率で起きると言われている、首都直下地震をはじめ、相模トラフ地震等、いつ震災が発生するのか予想が出来ません。地震・津波対策をはじめとした様々な対策を継続していくことが、震災から社員、お客さまの生命を守ることに繋がり、公共交通機関として求められる重要な課題であると考えています。下記のとおり申し入れ、団体交渉へ臨みます。

申し入れ事項

1．東日本大震災から 10 年。現在までに横浜支社として講じてきた防災対策を明らかにすること。また今後行う予定の防災対策を明らかにすること。
2．鉄道敷地内にてお客さまの避難誘導に際し、責任を持つべき範囲を明らかにすること。
3．お客さまと自らの命を守る為に判断した行動は、全て会社が責任を負うこと。
4．災害時、最善の判断を行えるよう、全社員に定期的な訓練を実施すること。
5．災害時、迅速な避難誘導を行えるよう、避難設備の増設と訓練を実施すること。
6．防災に関連した問題が発生した場合は、早期に労使議論を行うこと。

地震・津波被害から人命を守るため、出来る限りの対策を強く求める！

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を応援しています。
労働組合 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
No one will be left behind